

自立支援局だより

第50号 2024. 3発行

第44回リハ並木祭

2023年10月14日（土）に第44回リハ並木祭が開催されました。今年度は「それぞれの一步を、それぞれの笑顔で、それぞれの明日へ」というテーマでした。

リハ並木祭とは国リハ・職リハの利用者と職員、地域の方々が一体となって行うセンターの行事です。昨年度の第43回リハ並木祭は、新型コロナウイルスの影響もあり半日開催でしたが、今年度は実に4年ぶりの1日開催となりました。感染対策を徹底した上で、多くの地域の方や終了者にご来場いただきました。

当日は、本館で障害のある方の衣服などに関する工夫を発信している国リハコレクションの紹介や発達障害情報・支援センターの展示、講堂では東京サロンオーケストラの演奏、訓練棟では各訓練や学院の学科紹介がありました。屋外ではグルメストリートと称し、地域団体の方々や学院生が提供する豚汁や揚げパン、たこせんなどがあり、多くの方々が舌鼓を打っていました。



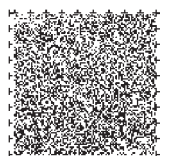
立体オブジェ



東京サロンオーケストラの演奏

音声コード掲載版

この冊子には、音声コード (Uni-Voice) が奇数ページは右端下 (5・7ページは右端上下)、偶数ページは左端下 (8ページのみ左端上下) に印刷されています。



● ● ● 自立支援局での企画について ● ● ●

自立支援局での企画について紹介します。

生活訓練では、訓練紹介とボッチャ体験があり、ボッチャ体験では「パラリンピックで見て知ってはいたけれど、初めて体験した。」という方もいらっしゃいました。視覚機能訓練では、音声パソコン体験や便利グッズの紹介とサウンドテーブルテニス体験、就労移行支援では、縁日企画と訓練体験を行いました。肢体機能訓練では、車椅子体験とポップコーン販売、卓球バレーの体験を行いました。就労移行支援（養成施設）ではゴールボール体験や、毎年人気となっているあんま・はり施術、ヘッドスパの体験を出展しました。



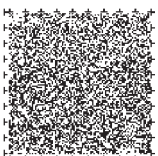
生活訓練の紹介



視覚機能訓練の便利グッズの紹介



就労移行支援では秋をモチーフとした飾り付けがされていました。





肢体機能訓練の車椅子体験



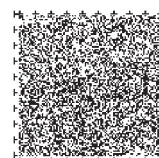
就労移行支援（養成施設）のあんま・はり施術体験



ポップコーン販売の様子

当日は天気も良く、柔らかな日差しがあり暖かな1日でした。中庭で来場者の方が各々リラックスして過ごされていたのが印象的でした。

リハ並木祭を開催し、これまで来たことのない方々に国リハ・職リハの雰囲気を知ってもらえたり、終了者の方々と職員が再会できたりするのは実地開催だからこそだと思います。新型コロナウイルスによって、イベントに人が集まり触れ合う環境が変化してしまいましたが、これからも人と人とのつながりを大切にして開催して参りたいと思います。来年度もご協力をお願いいたします。 文責：長津智之



発達障害について ～就職活動の困難さ

就労移行支援課 発達障害支援室

■ 発達障害支援室の就労移行支援

当室では、①就労意欲がある、②通所が可能である、③発達障害と診断されている、④市区町村から「障害福祉サービス受給者証」を交付されている方を対象に就労移行支援事業を実施しています。利用者の「就職する前に自分の特性を知りたい」、「自分の特性に合った長く働ける就職先を探したい」などのニーズと障害特性に合わせた個別支援計画を作成し、就職に向けた支援をしています。当室では、10代後半から30代くらいまでの青年期の方を中心に支援しています。これまで、一人ひとりの希望を聞きながら、障害特性に合った就職ができるように支援してきましたが、最も重要なことは、ご本人自身の「働きたい」、「就職したい」という強い気持ちとなります。

■ 就職活動は難しいミッション

例えば大学生の場合は2年生や3年生の時から就職を意識し、実際に就職活動をスタートするのではないのでしょうか？

基本的な就職活動のイメージとしては、

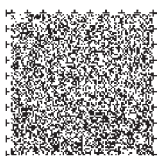
- ❖ 企業の合同セミナーに参加する
- ❖ 気になる業界について調べてみる
- ❖ 学校等の就職課に相談する
- ❖ 自己分析や、企業分析、SPI等の勉強
- ❖ 就職したい企業にエントリーする
- ❖ 試験や面接を受ける

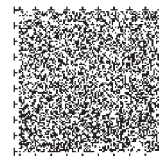


等々、非常にたくさんの「やらなければならないこと」がありますが、具体的な内容は、一人一人違います。

登山に例えると、就職という山の頂上まで登るというゴールは同じですが、登るルートは人それぞれです。個別に登山計画を立て、装備を整えるなどの準備も必要になります。計画や準備が無いと、遭難してしまうかもしれません。同じことが、就職活動にも言えます。具体的な計画と準備が必要です。

ここでいったん確認ですが、大学の授業で「社会学」や「経済学」のような講義と同様に、通年で就職活動の講義を受けたことがある方はいらっしゃるのでしょうか？一般的な大学の就職課が主催する年に数回のセミナーや、履歴書作成などの講義に参加し、





他は先輩や同級生の就職活動の様子を見よう見まねで、わからないなりに何とかしていくというのが現実だと思います。要するに就職活動は非常に難しいミッションではあるが、一部の手助けを除き、ほぼ独学で実行しなければならないということです。また、他にも同時並行で重要なミッションも抱えています。それは、卒業するということです。そのためには、単位を落とさないように講義に出て勉強することや、卒論を書くことなども必要になります。

■ 発達障害と就職活動

発達障害の特性として、同時に異なる複数の作業をすることを苦手としている場合があります。いわゆるマルチタスクが苦手です。例えば、電話をしながらメモを取ることです。また、自分で計画を立てて、それを実行するというのも苦手な場合が多いのです。他にも、たくさんの情報の中から、大事な情報を取捨選択することが難しいなど様々な特性があります。こうした特性を踏まえると、これまでに書いてきたような就職活動を一人で進めていくことの難しさを感じていただけたのではないのでしょうか。もちろん、発達障害の方でも卒業も就職もできた方もいますが、実際に困っている方もいるという現実があります。

■ 「働きたい」と考えている場合の主な相談先

当事者やご家族から相談を受ける際に気になったことは、多くの方が身近な相談先についてご存知ないということです。ご参考までに就労関係の主な相談先等を記載します。

《労働施策の窓口》

- ❖ ハローワーク（公共職業安定所）
- ❖ 障害者就業・生活支援センター など

※詳細は、厚生労働省 HP（障害者の方への施策）をご確認ください。

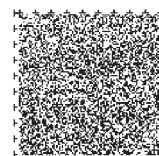
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/shougai_shakoyou/shisaku/shougai_sha/index.html



（左の QR コードもご活用ください）

上記以外の窓口として、市区町村の障害福祉窓口や保健センター、発達障害者支援センター、基幹相談支援センター、相談支援事業所、地域若者サポートステーション、就労移行支援事業所、就労継続支援（A型・B型）などがあります。

文責：徳山博之



所外レクリエーション（生活訓練）

生活訓練課

令和5年11月16日、自立訓練（生活訓練）では、4年ぶりに所外レクリエーションを実施しました。今回は、調布市にある『JAXA調布航空宇宙センター』の見学を行いました。飛行機のシミュレーター体験や航空機のエンジン展示を、皆さん興味深そうに見学していました。見学後、同じく調布市にある深大寺で、名物のお蕎麦を食べました。いつもと違う場所で食事をするのはとても新鮮で、皆さん笑顔があふれていました。昼食後、深大寺周辺を散策し、秋晴れの中、紅葉を楽しんで過ごすことができました。お土産は何を買おうか迷っていましたが、家族のことなども考え、思い思いの物を買っていました。通常の訓練とは異なった環境で、利用者の皆さんや職員との交流を深めつつ、見聞を広めることができ、大変いい機会となりました。



今回の所外レクリエーションに参加した方の感想をご紹介します。

生活訓練利用者：金城政邦さん

所外レクはとても楽しかったです。利用者の皆さんとのバスでの移動は、学生の頃を思い出し、懐かしかったです。

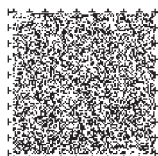


JAXAでは宇宙船シミュレーターを操作し、子供の頃に憧れていたパイロットになっ

た気分でした。深大寺で美味しいお蕎麦を食べた後、植物園に行きました。とても綺麗な薔薇が咲いていて、家族に写真を送りました。また行きたいと思いました。

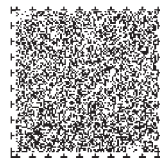


文責：名和一輝



あん摩基礎実習Ⅲ（指圧実技）

理療教育課



指圧とは日本独特の技法で、英語でもそのまま「SHIATSU」と表記され、その原点は手当てにはじまります。日本では、古来より東洋医学的な古来のあん摩、導引、柔道の活法などの手当て（手技療法）が営まれてきました。その後、アメリカで創始されたカイロプラクティック、オステオパシー、スポンデロセラピーなどが輸入され、古来より行われてきた経験的な術式に、これらの技術が加えられ改良されて、独自の手技療法「指圧法」として確立しました。

指圧は、あん摩やマッサージのように「もんだり」「たたいたり」せず、手指や手掌で体表に「圧」を加え、その圧刺激により生体の変調を矯正し、健康の保持・増進をはかり、または特定の疾病治療に寄与する施術法です。

わが国では昭和30年に法制度の中に位置づけられ現在は、「あん摩マッサージ指圧師」国家試験に合格し免許の交付を受けた者が、仕事として施術を行うことができ、全国の治療院や医療機関、デイサービス施設や老健施設などで活躍しています。



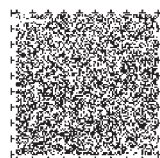
写真1

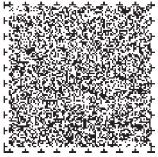


写真2

当センターの訓練（授業）では、施術者としての基本である、手洗い、手指消毒を丁寧に実施するところから始まり、枕やマット、タオルを利用し、手の形や当て方、指の使い方を学びます。体を使い体重移動で圧を加える練習では、利用者同士ペアになってお互いの身体を押し練習します（写真1）。最初にデモンストレーションとして教官が実際に施術し、その教官の体に触れて、施術の立ち位置、姿勢、押圧の方向を確認しています。指圧の基本となる手技の押圧操作には、三原則があります。一つ目は垂直です。指圧しようとする体表面に対して垂直に圧を加えることであり、教官が手を取り垂直圧の方向を1点1点確認しながら練習しています（写真2）。二つ目は持続です。一定度押圧した圧を、一定時間持続することであり、メトロノームを利用し一定時間持続して押圧できるよう練習しています。三つ目は集中です。施術中は精神を集中させることを心掛けて練習しています。押圧操作の三原則が出来るようになったら、施術の場所、手順、さらに接遇なども合わせて、患者様に接するイメージでコミュニケーションをとりながら訓練をしています。

文責：山田忠





利用者募集のご案内

視覚障害のある方の自立した生活に向けて

自立訓練（機能訓練）

視覚障害により日常生活や就労等を目指す上で困り事がある方に対し、白杖を使用した歩行訓練や点字訓練、日常生活訓練、学習や就労等で活用可能な音声パソコン、録音機器等の操作方法習得のための訓練等を提供しています。

就労移行支援（養成施設）

国家資格である「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師」の資格取得を目指し、授業（講義、実技実習、臨床実習等）の提供のほか、資格取得後の就労に向けた支援を提供しています。

頸髄損傷等の方の自立した生活に向けて

自立訓練（機能訓練）

主に頸髄損傷等による重度の肢体不自由の方が、地域や家庭、職場などで補装具や自助具の活用や環境を調整することによりできる動作を身に付け、より充実した社会生活を送ることができるよう、理学療法、作業療法、リハビリテーション体育、職能訓練等の訓練を提供しています。

高次脳機能障害のある方が自分らしく暮らすために

自立訓練（生活訓練）

高次脳機能障害に伴う記憶障害、注意障害、遂行機能障害等による生活課題に対し、メモリーノート等の代償手段の活用によりスケジュール管理等の生活能力を高められるよう、個々の生活状況に応じて支援します。個別又は集団で訓練を提供しています。

障害のある方の「働きたい」を支援します

就労移行支援

就労が見込まれる主に身体に障害のある方、高次脳機能障害のある方、発達障害のある方に、一般就労や復職に向けて、就労のための技能習得（事務、作業等）及び模擬的な職場体験訓練を提供しています。就職活動に向けては、職場見学や職場実習のほか、履歴書の作成や面接練習なども実施し、面接会の同行等の就職活動を支援しています。

※遠方のため通所で上記サービスを利用することが困難な方には、施設入所支援（宿舎利用）を提供しています。発達障害の方は通所利用のみです。

<問い合わせ先> 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 総合相談課

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1 TEL: 04-2995-3100 (代表)

FAX: 04-2992-4525 (直通) E-mail: rehab-soudan@mhlw.go.jp

※利用相談は、平日日中（月～金 9:00～17:00）受け付けています。

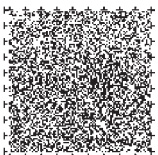
国リハ HP は
こちら →



公式 X は
こちら →



公式 YouTube は
こちら →



国リハ HP : <http://www.rehab.go.jp/TrainingCenter/>

公式 X : https://twitter.com/NRCD_ 公式 YouTube : <http://www.rehab.go.jp/youtube/>